

東京春祭を楽しむ(17)

—ライブ配信(17)—

1. 始めに

[Web 情報紹介【2022No.39】](#)で紹介した東京春祭 22 から興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、東京春祭の戸田弥生（ヴァイオリン）を中心とするメンバーによる弦楽四重奏の演奏を視聴しました。



2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は下記のとおりです。

PC→UACU-700→Sonica DAC→BACU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+
→BACU-2000→TruPhase→BACU-2000→300B

プログラムは次のとおりです。

日時・会場

2022/3/27 [日] 15:00 開演 [14:30 配信開始]

東京文化会館 小ホール

出演

ヴァイオリン：戸田弥生、池田菊衛

ヴィオラ：磯村和英

チェロ：横坂源

曲目

ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 8 番ハ短調 op.110

I. Largo

II. Allegro molto

III. Allegretto

IV. Largo

V. Largo

～ 休憩 ～

シューベルト：弦楽四重奏曲第 14 番ニ短調 D810 《死と乙女》

I. Allegro

II. Andante con moto

III. Scherzo. Allegro molto

IV. Presto



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

中堅、ベテラン、新鋭の演奏者で結成された四重奏団の演奏です。

ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲第 8 番は、あまり聴く機会がない曲で、ショスタコーヴィチの交響曲がそのまま弦楽四重奏曲になったような激しいパッセージで構成されており、鋭角的な演奏の鋭い音で迫ってきます。

シューベルトの弦楽四重奏曲第 14 番《死と乙女》はお馴染みの曲で、ショスタコーヴィチとは対照的に重々しく切なく抒情的な曲です。

常設の弦楽四重奏団ではありませんが、元東京カルテットの第 2 ヴァイオリンとヴィオラのメンバーが内声部をしっかりと支えており、終章の緊張感ある盛り上がりなど、聴き応えのある演奏でした。



4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができました。

以上